

## 海賊対処の第31次派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第31次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第31次派遣水上部隊が、昨年8月5日に日本を発つて以来、約6か月ぶりとなる2019年2月9日に横須賀基地（神奈川県）に帰港した。

同部隊は、第1護衛隊司令（東 良子1等海佐）の指揮の下、護衛艦「いかづち」（櫻井 敦艦長）により構成され、隊員約200名（海上保安官8名同乗）が乗船し、アデン湾にて9回に亘り12隻の護衛活動を実施した。

今回帰国した第31次隊は、昨年11月に、当協会、国際船員労務協会、全日本海員組合が合同でジブチを訪問した際に、対処行動の任務にあっていた隊である。

式典では、原田憲治防衛副大臣ならびに山下万喜自衛艦隊司令官が訓示した。

高橋静夫商船三井副社長、今田俊一国際船員労務協会副会長、商船三井加藤雅徳常務執行役員、日本郵船後藤湖舟経営委員、川崎汽船綾清隆執行役員、NSユナイテッド海運藤田透執行役員他6名の関係者が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、護衛艦乗員の方々のご活躍に対しあらためて感謝の意を表した。

（海務部 事務局）

### 帰国行事



入港する護衛艦「いかづち」



下船した派遣隊員の入場



東隊司令（中央）、櫻井艦長（右）並びに派遣隊員



代表を務める高橋副社長



訓示する原田防衛副大臣



訓示する山下自衛艦隊司令官



派遣部隊を横断幕と共に出迎える当協会関係者